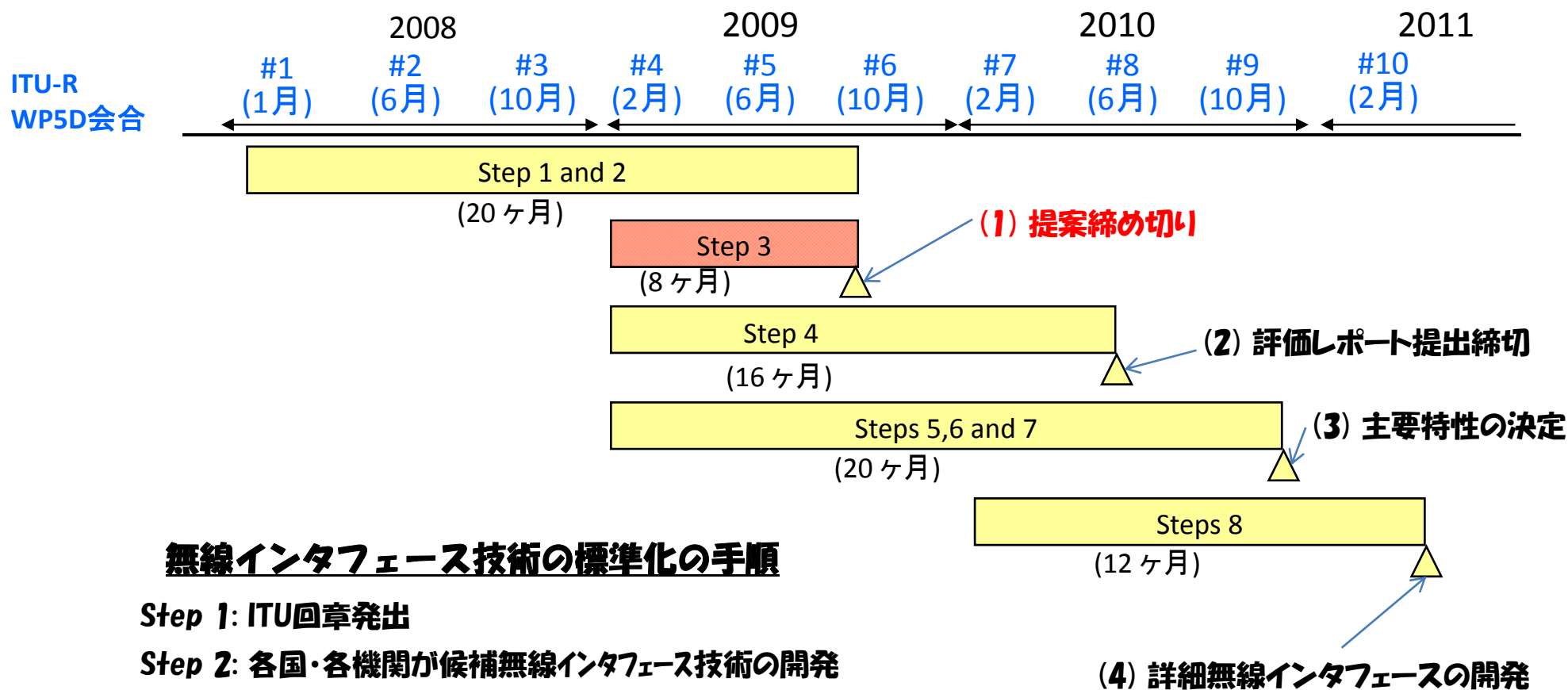


第4世代移動通信システム (IMT-Advanced)
の無線方式に関する日本提案について

平成21年1月30日

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU-R部会
地上業務委員会

(1) IMT-Advancedの無線インタフェースの標準化スケジュール



無線インタフェース技術の標準化の手順

- Step 1: ITU回章発出
- Step 2: 各国・各機関が候補無線インタフェース技術の開発
- Step 3: 各国・各機関が候補無線インタフェース技術の提案
- Step 4: ITUの評価グループで候補技術の評価
- Step 5: 評価グループ間の評価活動の調整と見直し
- Step 6: ITUで最小要求条件との合致の評価取りまとめ
- Step 7: ITUで評価結果の考察、合意形成、無線インタフェースの決定
- Step 8: ITUで無線インタフェース仕様の勧告作成

(2) 各機関における検討状況

3GPP

機関の概要

- W-CDMA方式の第3世代移動通信システム(IMT-2000)の標準化を推進する標準化団体
- 第3. 9世代の移動通信システムとして、
“LTE(Long-Term Evolution)”の標準化を完了したところ

検討状況

- 2008年3月(第39回RAN会合): IMT-Advancedに関する研究課題を採択
- 2008年10月: ITU-Rに対して、**無線方式の開発を開始**した旨報告

IEEE 802.16

機関の概要

- 米国電気電子学会が母体。802委員会はイーサネット、無線LAN等の標準を策定。
- 802.16は、広帯域無線アクセス(WiMAX)の標準化を担当

検討状況

- 2007年1月(第47回会合) :IMT-Advanced無線インタフェース策定に向けた研究計画を策定
- 2009年2月 :ITU-Rに対して、**無線方式の開発**状況を報告予定

3GPP2

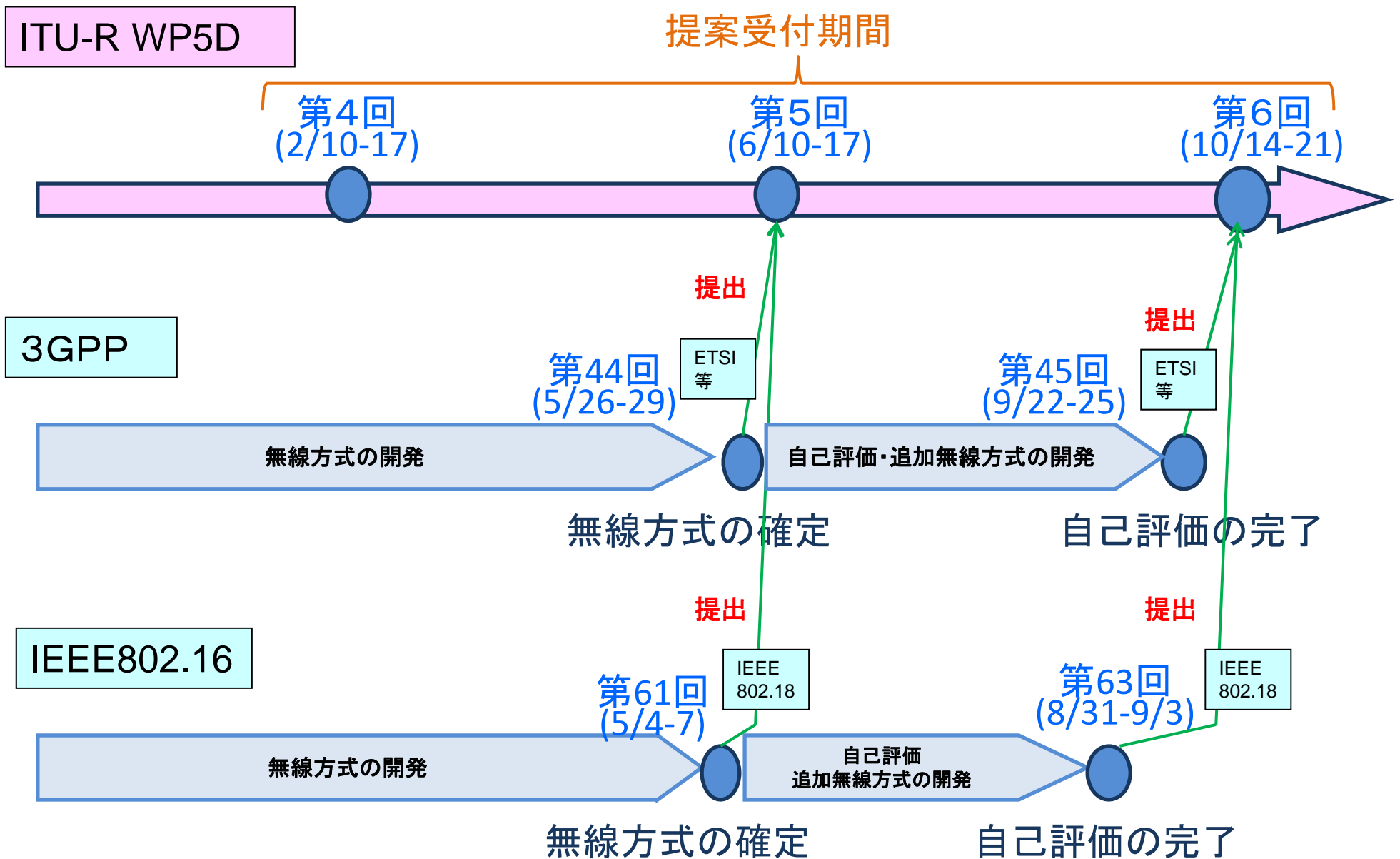
機関の概要

- CDMA-2000方式の第3世代移動通信システム(IMT-2000)の標準化を推進する標準化団体
- 第3. 9世代の移動通信システムとして、
“UMB(Ultra-Mobile Broadband)”の標準化を完了したところ

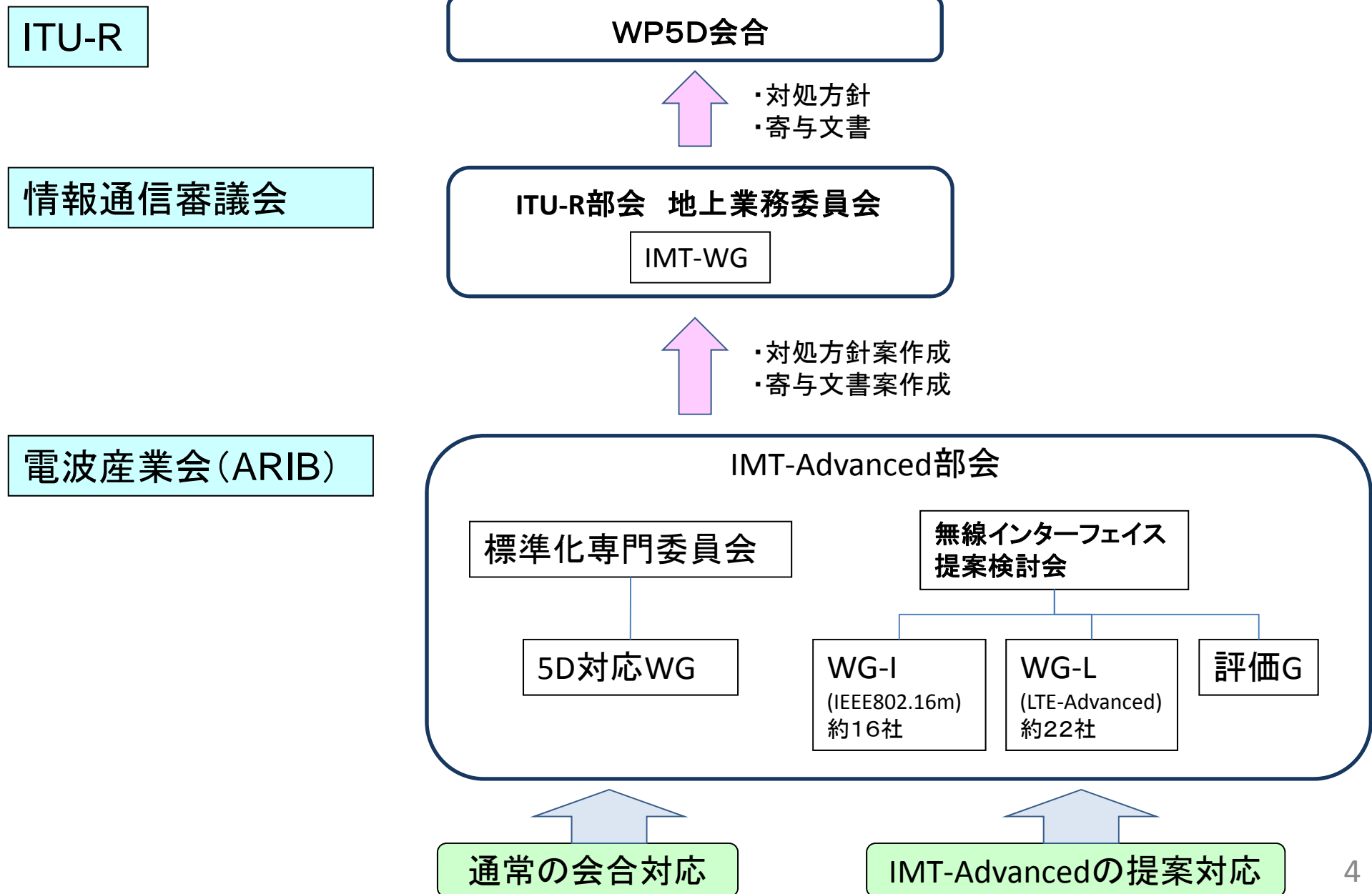
検討状況

- 2008年7月(第SC/OP会合):現時点で、UMB方式を採用する事業者がいないこと、他に優先すべき作業項目があること等から、ITU-RのIMT-Advancedの提案締切に向けた**開発を中断。現在開発再開の目処なし。**

(3) 各機関とITU-R WP5Dとのスケジュール



(4) 我が国における取組状況①



(4) 我が国における取組状況②

情報通信審議会答申

(平成20年12月11日)

「第3世代移動通信システム(IMT-2000)の高度化のための技術的方策」

3. 9世代移動通信システムから第4世代移動通信システムへの円滑な発展のため、IMT-Advancedの技術検討・標準化にあたり、以下の点に留意して進めることが望ましい。
- ITU-R WP5Dで決定した最小要求条件を上回ると共に、3. 9世代移動通信システムとして検討されたインタフェースより優れた性能を有すること
 - 3. 9世代移動通信システムとして検討された無線インタフェースとの技術的親和性／共存を考慮していること
 - 多数の標準化団体及び企業の賛同が得られているシステムであること
 - 自己評価及び評価グループによる評価結果に問題がないこと

(5) 日本提案の提出に向けた対応について

① 標準化機関への我が国企業の参加の推進 (2009年1月～5月)

ARIBにおける無線インタフェース提案検討会等の場を通じて、我が国企業が3GPP及びIEEE802.16における無線方式の開発に参加し、知的財産権(IPR)を含む技術提案を盛り込むことを推進する。

② 標準化機関における無線方式の提案に係る作業の基本的支持及び我が国における評価・提案の表明 (2009年6月)

3GPP及びIEEE802.16における無線方式の提案に係る作業について基本的に支持するとともに、今後、我が国において評価を実施し、評価結果を踏まえて同様の提案を行う用意がある旨、WP5D会合に寄与文書を提出する。

③ 我が国における自己評価結果のレビューの実施 (2009年6～9月)

3GPP及びIEEE802.16が実施する自己評価結果について、我が国でレビューを行い、ITU-R WP5Dで決定した最小要求条件を上回ると共に、3. 9世代移動通信システムとして検討されたインタフェースより優れた性能を有するかどうか評価する。

④ 提案方式の妥当性の審議 (2009年9月)

我が国におけるレビューの結果を踏まえ、日本提案として妥当な無線方式かどうか、地上業務委員会で審議を行う。

⑤ ITU-Rへの日本提案の提出 (2009年10月)

ITU-Rに日本提案として提出する。

(6) 地上業務委員会における対応スケジュール(案)

